

上高地、観光客負担金を検討

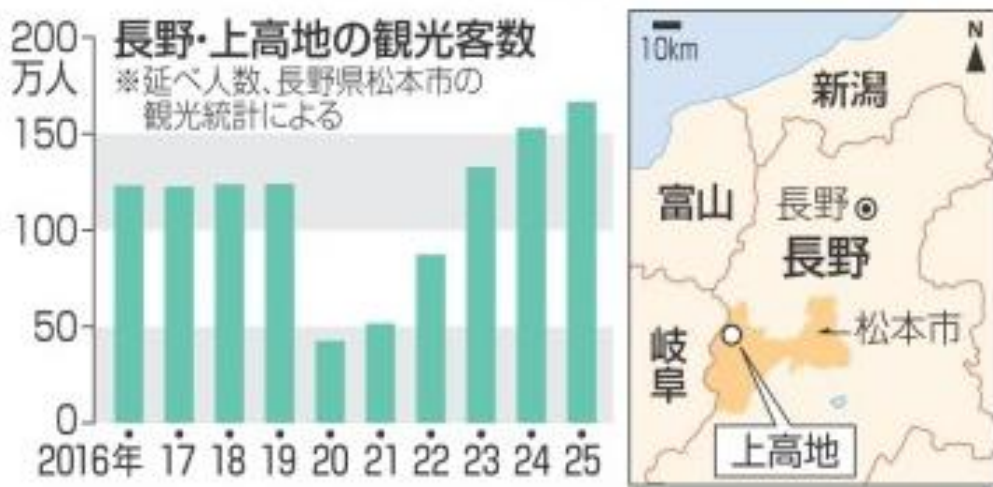
山岳景勝地として知られる上高地（長野県松本市）で、松本市が観光客や登山者からの「利用者負担金」の徴収を検討している。インバウンド（訪日客）を含む来訪者が増えており、安定的に財源を確保し景観保全や防災対策に力を入れたい考え。早ければ2028年度にも導入する方向で、市は額や徴収方法などの詳細を詰める。

来訪者急増、景観保全目的に

上高地では訪問税も導入予定。尾瀬（福島、栃木、群馬、新潟）でも、群馬県が入域料を模索する。



観光客でにぎわう長野・上高地＝4月25日、長野県松本市



上高地では観光客の増加が顕著だ。新型コロナ後に急増し、25年は延べ約166万人。同年の外国人宿泊者数は2万人超で、17年比で2倍となった。一方、無謀な登山による遭難やご

みの不法投棄が問題に。これとは別に、ニホンジカが増え、貴重な高山植物の食害といった環境の変化も起きている。こうした中、ホテルや交通事業者の関係者らで構成する松本市設置の研究会は3月、負担金を求める提言を市長に提出した。「財源が十分でないため、山積する課題解決が進まない」と指摘。管理運営を一括で担う法人設立の必要性にも言及した。

研究会では、額について1人当たり千〜2千円程度との意見が出ており、上高地内のバスターミナルなどで徴収する方法を検討。負担金の使い道は遊歩道の整備やごみ対策、火山活動が続く焼岳（長野、岐阜両県）の退避舎整備などが選択肢だ。

左の記事を読んで、下の問いに答えましょう(よく考えて計算してみましょう)。

1 2017年の上高地の外国人宿泊者数は約何人でしたか。

約[]人

2 上高地の観光客数について説明する下の文の[]にあてはまる数字を、本文とグラフから読み取って書きましよう。

過去10年で最も観光客数が少なかったのは[①]年であった。2025年の観光客数は、その約[②]倍にあたる[③]人となった。

3 利用者負担金を仮に2千円とすると、2025年と同じ観光客数が上高地に訪れた場合、1年間の徴収金額の合計はいくらになりますか。

約[]円

